



2015年2月28日発行



今回の紙面から（ページと内容）

1. 会長挨拶
2. 第8回国際春季フォーラムのご案内
第33回大会のご案内
大会（国際春季フォーラム）優秀発表賞の創設
(Student) Workshopの企画募集
理事会・評議員会より
3. 編集委員会より
4. 大会運営委員会より
5. 広報委員会より
学会賞委員会より
6. 日本英語学会賞と日本英語学会新人賞の募集
事務局より

会長挨拶

会長 大庭 幸男

新しい年を迎え、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の年次大会時に行われた選挙におきまして、会長に再選されました。それまでは、会長の任期は1期3年でしたので、私の任期も1期で終わるものと思っていました。しかし、平成23年7月に会則が改訂され、「会長の任期は2年を1期とし、再任されてもよいが引き続き2期を超えてはならない。」となりました。そのためだと思いますが、もう1期会長を務めることになりました。微力ではございますが、学会の発展のため、また、会員の皆様のお役にたつように、精一杯務めたいと存じますので、これまで同様にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度も4月と11月にそれぞれ国際春季フォーラムと年次大会が開催されました。国際春季フォーラムでは4つの招待講演、20の口頭発表、11のポスター発表、1つのワークショップが行われました。133名（懇親会には58名）の参加者があり、活発な議論が行われました。運営を支えてくださった開催校の龍城正明先生をはじめ同大学関

係者の皆様に、そして、本多 啓実行委員長をはじめ大会運営委員の皆様大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。また、年次大会は学習院大学で開催されました。6つのワークショップ（うち1つはスチューデント・ワークショップ）、32の研究発表と6つのシンポジウム（うち1つは言語系学会連合との共催）が行われ、526名（懇親会には172名）の参加者があり、こちらも盛会裡に終えることができました。中島平三先生をはじめ同大学関係者の皆様に、そして、丸田忠雄委員長をはじめ大会運営委員の皆様大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

ところで、本年3月末で1期が終了しますので、この間の主な事柄を総括したいと思います。それは次の3つに纏めることができます。まず第1は、研究活動における不正行為防止等に係る諸規定の策定と、それに関連する会則や各種委員会規定・内規・申し合わせの改訂を行ったことです。研究活動における不正行為については、学会としては想定外のことでしたので、これまで関連する諸規定が策定されていませんでした。しかし、このたびこれに係る諸規定や内規等の整備をすることができました。これによって研究活動における不正行為を防止・抑止することができると思いますが、不幸にしてそのような事態が生じても速やかに対応できるようになりました。

第2は、大会(国際春季フォーラム)優秀発表賞が設置されたことです。これを設ける動機付けは、会員数(現在、1,405名)の減少化傾向にありました。この状況を改善するために、第31回大会(2013年、福岡大学にて開催)においてアンケートを実施しました。アンケートの回答の中に、学会の活性化と会員数の増加につながる意見として、顕彰制度に関するものがありました。そこで、丸田忠雄委員長を中心として大会運営委員会で検討していただき、来年度の第33回大会(2015年、関西外国語大学にて開催)より実施することができるようになりました。この顕彰制度の設置により、若い優秀な研究者の研究発表が増え、ひいては会員数全体の増加に繋がることを期待しています。

最後は、本学会のホームページをリニューアルする見通しが立ったことです。現在のホームペー

ジの原版は、河上誓作会長時代に作成されたものです。したがって、約15年も前のもので、表紙の図柄も機能も古くなっています。この度、天沼実委員長をはじめ広報委員会の皆様のお陰で、爽やかな図柄の表紙と見やすいホームページが製作されており、3月末には完成する予定です。

最後になりましたが、現事務局体制は3月までで、4月より新しい体制となります。現事務局にいろいろご援助・ご理解をいただきまして、ありがとうございました。また、新事務局体制になりましても、学会の発展と円滑な運営のため、一所懸命務める所存でございます。今後ともご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第8回国際春季フォーラムのご案内

第8回国際春季フォーラムは次のとおり開催されます。

日時： 2015年4月18日(土)・19日(日)
場所： 成蹊大学
(〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)

詳細については、同封のプログラムをご覧ください。なお、今回のフォーラムも書籍展示を行う予定です。また、土曜日夕刻に開催される懇親会の参加費は2,000円です。

第33回大会のご案内

第33回大会は次のとおり開催される予定です。
日時： 2015年11月21日(土)・22日(日)
場所： 関西外国語大学(〒573-1195 大阪府枚方市中宮東之町16-1)

会員の方は奮って研究発表にご応募下さい。応募締切は2015年4月1日(火)24時(必着)です。応募の際は、学会ホームページ「研究発表応募規定」欄(<http://elsj.kaitakusha.co.jp/kenkyuha.html>)掲載の同規定をご確認下さい。2014年11月に応募規定が一部改定され、新しく「大会(国際春季フォーラム)優秀発表賞」が創設されます。修士課程在籍者及び、修士課程修了後10年未満の方が対象となりますので、奮ってご応募下さい。なお応募規定違反の原稿が見受けられますので、規定の内容をよく読み、遵守して下さいますようお願いいたします。そのうえで、同規定指定のアドレス宛に、発表内容と研究発表応募用紙(Excel

ファイル)を締切り日厳守にてご送信下さい。

第33回大会においても「親と子の部屋」を設置いたします。詳細は、今後学会ホームページや8月発行予定のニューズレターでご案内いたします。

大会(国際春季フォーラム)優秀発表賞の創設

前述の通り日本英語学会では、第33回大会より、優秀な若手の研究発表者を表彰する制度として、「大会(国際春季フォーラム)優秀発表賞」を創設します。応募資格は、修士課程在籍者または修士課程修了後10年未満の方で、希望者は「研究発表応募用紙」に必要事項を記入することで応募できるものとします。詳細については学会のホームページ「研究発表応募規定」の頁をご確認下さい。国際春季フォーラムについても同じく優秀発表賞が創設されますが、これは第9回(2016年度大会)からの適用となります。本年8月頃にホームページで公開予定の第9回国際春季フォーラムの研究発表募集の案内をご確認下さい。

(Student) Workshopの企画募集

日本英語学会では、会員の自主的な企画・運営により、特定のテーマに関する発表と自由な討論をしていただく場として、ワークショップ/スチューデント・ワークショップ企画を例年募集しています。第33回大会では、11月21日(土)の午前9時30分から11時45分までをワークショップ/スチューデント・ワークショップにあてる予定です。

企画・運営をご希望の方は、学会ホームページ「秋季大会ワークショップ」欄(http://elsj.kaitakusha.co.jp/elsj_workshop.html)掲載のワークショップ企画募集案内をご確認のうえ、2015年3月31日(火)24時までに必着にて、同案内指定のアドレス宛に企画書とワークショップ応募用紙(Excelファイル)を送信して下さい。

理事会・評議員会より

○ 会計

2014年11月7日に開催されました第69回理事会と第32回評議員会において、日本英語学会2014

年度収支中間報告が承認されました。「日本英語学会 2014 年度収支中間報告書」は、割愛させていただきます。

○ 役員の異動 (含、選挙結果報告)

・ 会長 (再任)

11 月 7 日に次期会長選挙が行われ、米山三明選挙管理委員長、伊藤たかね選挙管理委員による開票の結果、大庭幸男氏が次期会長に選出されました。任期は 2015 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までです。

・ 顧問 (新任)

稲田俊明氏 (長崎大学) と大津由紀雄氏 (明海大学) が、2015 年 4 月 1 日付けで顧問に就任されることに決定しました。

・ 大会運営委員長 (退任)

丸田忠雄氏 (東京理科大学) が 2014 年 12 月 14 日付けで退任されました。

・ 大会運営委員長 (新任)

高橋英光氏 (北海道大学) が 2014 年 12 月 15 日付けで大会運営委員長に就任されました。任期は 1 年間です。

○ 会員数の変動について

現在の会員数は 1405 名 (1 月 9 日現在) となりました。内訳は、学生会員 61 名、一般会員 1208 名、維持会員 108 名、顧問 9 名、賛助会員 19 名となっております。

○ ELSOK との交流について

過去 3 回に渡って行われました ELSOK との相互交流プログラムは、今年は諸般の事情により中止となりました。それに伴い、第 8 回国際春季フォーラム (本年 4 月 18 日、19 日成蹊大学にて開催) において予定されていた ELSOK からのゲストスピーカーによる招待講演も中止することとなりましたので、お知らせいたします。

編集委員会より

◇ *English Linguistics* 第 31 巻 2 号 (2014 年秋号) の刊行について

EL 第 31 巻 2 号 (秋号) が刊行されました。Article 4 編、Brief Article 2 編、Notes and Discussion 1 編、Review Article 2 編、Review 5 編が掲載されています。

◇ *English Linguistics* 第 32 巻 1 号 (2015 年春号) の応募論文の査読結果について

2014 年 9 月 20 日締め切りで EL 第 32 巻 1 号に投稿された一般論文の総数は 8 編で、その投稿部門と投稿分野の内訳は、Article 2 編 (Phonology 1, Phonology/Historical Linguistics 1)、Brief Article 4 編 (Syntax 3, Cognitive Linguistics 1)、N&D 2 編 (Phonology 1, Syntax 1) でした。

以下の表は、恣意による Review Article 1 編および Review 9 編と、第 31 巻 2 号に応募されて「4 ヶ月書き直し」と判定され、第 32 巻 1 号に再投稿された論文 2 編も含めた、第 32 巻 1 号の審査結果です。

	応募数	採用	不採用	取り下げ	審査中
AR	2	0	1	0	1
BA	4	2	2	0	0
N&D	2	1	1	0	0
RA	1	0	1	0	0
Review	9	6	2	1	0
4 ヶ月書き直し					
AR	1	1	0	0	0
合計	19	10	7	1	1

上記以外に、特別企画 2013 として「特集テーマ : Public/Private-Self Centeredness and Grammatical Phenomena in Japanese and English: The Perspective of the Three-Tier Model of Language Use」のもとで一括投稿された論文 (Brief Article 相当論文 3 編と Introduction) が審査の結果、第 32 巻 1 号に掲載される予定です。また、招待論文 1 編 (第 6 回国際春季フォーラムにおける Guest Lecture に基づくもの) が掲載されます。

◇ *English Linguistics* 第 32 巻 2 号 (2015 年秋号) への投稿について

2015 年 12 月発行予定の EL 第 32 巻 2 号 (秋号) の原稿締切は、2015 年 4 月 1 日 (水) 24 時 (必着) です。

応募される方は、学会ホームページに記載されている投稿規定及び書式に関する注意事項を通読され、最新版の規定に則って作成してネイティブ・チェックを受けた原稿をご投稿下さいますよう、お願い申し上げます。

◇ 「特別企画 2014 : 特集テーマによる一括投稿論文」の事前審査への応募について

「特別企画 2014 : 特集テーマによる一括投稿論

文」の公募に対して2014年12月15日の締切日までに1件の応募がありました。編集委員会による事前審査において不採用となりました。

なお、「特別企画2015：特集テーマによる一括投稿論文」の公募については、2015年6月に、学会ホームページで案内を行う予定です。

◇ 2014年度 *EL*論文賞について

*EL*第27巻より、*English Linguistics*に掲載された論文（ARとBA）の中から優れたものに「*English Linguistics*研究奨励賞」を授与してきましたが、今年度から名称を「*EL*論文賞」へと変更することになりました。これは主に、すでに受賞歴のある方が再度受賞される可能性が出てきたためです。なお、受賞論文の執筆者が*EL*投稿時の年齢（あるいは研究歴）に即して、次年度の日本英語学会賞（論文）と日本英語学会新人賞への応募の有資格者になるという点はこれまでと同様です。

2014年度は、*EL*第31巻1号および2号に掲載されたAR 7編、BA 4編合わせて11編について、先ず、分野別1次審査を行いました。審査対象となった論文の分野は、Phonology/Historical Linguistics 1編、Morphology/Syntax 1編、Syntax 8編、Historical Linguistics 1編です。1次審査結果を踏まえ、*EL*論文賞候補論文を5編に絞り込み、現在「最終選考委員会」で選考中です。最終選考で決定された2014年度「*EL*論文賞」は、2015年3月中に受賞者にお知らせします。

◇ preprintの公開について

*English Linguistics*への投稿原稿（preprint）を個人のホームページ等に掲載することに関して、会員からの問い合わせがあり、編集委員会および理事会で協議の結果、ガイドラインが定められました。その内容については、日本英語学会ホームページをご覧ください。

大会運営委員会より

□ 大会運営委員会の構成

昨年12月より大会運営委員会の構成は次のようになりました。

（委員長）高橋英光氏

（副委員長）小川芳樹氏

（委員）金澤俊吾氏（国際春季フォーラム実行委員長）、小野創氏、花崎美紀氏、柳朋宏氏、森田

順也氏（国際春季フォーラム実行副委員長）、小畑美貴氏、澤田治氏、山本武史氏〔以上留任〕、柴崎礼士郎氏、中尾千鶴氏、堀田優子氏、本間伸輔氏、吉田悦子氏〔以上新任〕

□ 第33回大会シンポジウム企画について

現在準備が進行中です。詳しい内容は『え〜ごがく』63号でお知らせいたします。

□ *JELS* 32 について

JELS 32 は CD-ROM 化して今回の NL に同封しております。

□ 第32回大会の報告

第32回大会は、2014年11月8日（土）・9日（日）の両日、学習院大学にて開催されました。本大会では、言語系学会連合と共催の公開特別シンポジウム1件、シンポジウム5件、研究発表32件、ワークショップ5件、スチューデント・ワークショップ1件が行われました。大会2日間で526名の参加者があり、盛会裡に終えることができました。今回も各出版社から書籍の展示をしていただき、本大会では21社の展示がありました。大会運営を支えて下さった開催校の先生方、参加された会員諸氏のご協力に対して、心より御礼申し上げます。また、今回も大会運営に関する貴重なご意見を多数いただきました。誠にありがとうございました。今後の大会運営の参考にさせていただきます。

□ 研究発表応募規定の改定について

「第33回大会のご案内」でも述べました通り、大会（国際春季フォーラム）優秀発表賞の創設に伴い、11月の秋季本大会の研究発表応募規定に以下の条文が追加されました。

9. 優秀発表賞への応募について：大会開催年度の前年度末（3月31日）の時点で修士課程（博士課程前期）に在籍中か修了後10年未満で優秀発表賞の審査を希望する者（連名発表の場合は代表発表者）は、研究発表応募用紙の該当欄に必要事項を記入すること。

□ 「*Conference Handbook* 原稿作成上の注意」の変更について

「*Conference Handbook* 原稿作成上の注意」が次のように変更されました。

【旧】

- (1) 原稿枚数：
①シンポジウム：B5 版横書き 6 枚以内。
②研究発表：B5 版横書き 4 枚以内。
- (2) 内容：
①次のものを含む。
例文，説明，図（縮小も可），引用文献など。

【新】

- (1) 原稿枚数：
①シンポジウム：B5 版横書き 5枚以上 6 枚以内。
②研究発表：B5 版横書き 3枚以上 4 枚以内。
- (2) 内容：
①次のものを含む。
例文，説明，図（縮小も可），引用文献など。
パワーポイント等の使用を前提としてこれらの情報を省略しないこと。

□「JELS 投稿規定」の改定について
JELS 投稿規定が次のように改定されました。

【旧】

2. 日本英語学会の本大会および春季国際フォーラムにおける発表に基づく原稿のみ掲載できる。

【新】

2. 日本英語学会の本大会および国際春季フォーラムにおける発表（ポスター発表は除く）に基づく原稿のみ掲載できる。

広報委員会より

◇ EL アーカイブ化について

広報委員会では、J-STAGE 3（科学技術情報発信・流通総合システム）での EL アーカイブ化と公開作業に取り組んでいます。2015 年 1 月末日現在、EL 第 29 巻 1 号（2012）まで公開されており、発行後 2 年を経た巻号について今後も同様に作業を進めていく予定です。以下の URL をご参照下さい。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/elsj>

◇ 日本英語学会の新ホームページについて

新たなホームページ公開に向けて、現ホームページ内の各種コンテンツを拡充しながら順次確認・移行しているところで、一連の作業は最終段階に入りました。新ホームページについての詳細は、追って現ホームページ上でお知らせいたします。

学会賞委員会より

◇ 2014 年度学会賞選考結果報告

日本英語学会賞は、学会賞（著書）、学会賞（論文）、新人賞の 3 部門で応募・審査を行っています。今年度の選考は、2014 年度学会賞委員会（池内正幸（委員長）、伊藤たかね（副委員長）、加賀信広（第 16 期編集委員会委員長）、菊地朗（第 16 期編集委員会副委員長）、岡田禎之（事務局長））のもとに実施されました。2014 年 4 月 1 日から 5 月 31 日の応募期間内に、学会賞（著書）には著書 2 編、学会賞（論文）には 2013 年度 EL 研究奨励賞受賞論文 1 編、新人賞には 2013 年度 EL 研究奨励賞受賞論文 2 編が応募されました。

学会賞（著書）については 6 月上旬から 10 月中旬まで審査が行われ、学会賞（論文）および新人賞応募論文については 6 月上旬から 8 月末まで審査が行われました。その結果、2014 年度学会賞（著書）は、三間英樹氏（神戸市外国語大学教授）の *Patterns and Categories in English Suffixation and Stress Placement: A Theoretical and Quantitative Study*（開拓社）に、2014 年度学会賞（論文）は、長野明子氏（東北大学大学院准教授）の“Morphology of Direct Modification”（EL 30.1）に、新人賞は、荒野章彦氏（東北大学大学院生）の“Uninterpretable Features and the Immobility of Constituents”（EL 30.1）に授与することになりました。選考結果は 2014 年 11 月 8 日（土）に開催された日本英語学会第 32 回大会の総会において報告され、そこで授賞式が行われました。なお、選考委員を務めていただいた方々の氏名は EL 第 32 巻 1 号に掲載される学会賞委員会報告に記載され公表されます。

受賞作の概要と評価は以下の通りです。

学会賞（著書）受賞著書

本書は、英語の各接尾辞の語根への付加可能性と強勢パターンについての事実を包括的に記述し、それを部分配列理論を用いて説明・予測するとい

う本格的な音韻論研究であることが高く評価されました。今後さらに、データ収集の方法の精密化や、他のゲルマン諸語や日本語の分析への展開が期待されるところです。

学会賞（論文）受賞論文

本論文は、名詞の修飾要素における直接修飾 (direct modification) が間接修飾 (indirect modification) とは異なる形態的特徴を示すことについて、Lexeme-Morpheme Base Morphology (LMBM) の枠組みをもとに考察したもので、スケールの大きな極めて優れた論考であると評価されました。紙幅が制限された論文では十分には議論できなかった部分について、今後さらに議論・展開されることが期待されます。

学会賞（新人賞）受賞論文

本論文は、極小主義プログラムの枠組みに基づいて、解釈不可能素性、転送に拠って、構成要素移動に課せられる新たな制約を提案したもので、新人賞受賞論文として極めて相応しいという評価を得ました。今後さらに、より丁寧な議論・検討が行われることが期待されます。

日本英語学会賞と日本英語学会 新人賞の募集

2015年度の日本英語学会賞（著書）、日本英語学会賞（論文）、日本英語学会新人賞の応募方法と応募期間は以下のとおりです。

・**応募方法**：必要な書類を日本英語学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ下記の指定メールアドレスに送信して下さい。

日本英語学会賞（著書）：award-b-obo@kaitakusha.co.jp

日本英語学会賞（論文）および日本英語学会新人賞：

award-a-obo@kaitakusha.co.jp

・**応募期間**：2015年4月1日より5月31日まで

・**その他**：日本英語学会のホームページにあります応募規定を熟読のうえご応募下さい。不明の点は事務局宛（elsj-info@kaitakusha.co.jp）に電子メールにてご連絡下さい。

事務局より

○ 会費納入のお願い

会費未納の方は、学会支援機構から送られます振込用紙で納入して下さいますようお願いいたします。2年間滞納されますと、会則第8条第4項により、自動的に退会扱いになりますので、ご注意下さい。

○ 学生会員登録（継続会員）について

2015年度に学生会員として登録（2014年度からの継続）を希望される方は、以下の要領でお申し出下さい。申告期間の終了後に2015年度の会員種別を確定し、会費請求をいたします。申告期間内にお申し出がない場合には、通常会員として会費請求がなされますので、ご注意下さい。

・申告資格：次の①もしくは②の条件を満たす会員

①大学など学校の「学生」の資格をもつ会員。

②研究生・聴講生・専任の勤務を持たない大学院修了者、および外国の大学の日本校の学生。

・申告期間：2015年4月1日～4月25日（必着）

・申告方法：会員番号・氏名・4月以降に在籍する学校の名称を記した用紙に、4月以降に学生であることを証明する以下の(1)から(4)のいずれかの書類を添付し、事務局宛（宛先は奥付参照）に「学生会員登録希望」と必ず朱書きのうえ、郵送して下さい。

(1) 在学する学校の発行する在学証明書

(2) 学生証のコピー

(3) 進学する学校・課程の合格通知書のコピー

(4) (元) 指導教員（所属明記）の署名（捺印）と証明の言葉

専任の勤務先を持たない大学院修了者は、(4)の方法により書類を提出して下さい。申告されたのちに変更が生じた場合や不明な点がある場合には、事務局（elsj-info@kaitakusha.co.jp）にご連絡下さい。

○ 学生会員登録（新規入会）について

年度途中で学生会員として新規に入会される場合には、上記の学生会員登録と同じ要領で申し込むことにより、申告期間にかかわらず、いつでも初年度から学生会員として登録ができます。この措置は、新規入会者のみに認められるものですのでご注意下さい。

詳しくは、学会のホームページをご確認下さい。

○ EL, JELS への論文投稿に関するお願い

EL, JELS に論文を投稿される際には、日本英語学会ホームページに掲載されております「English

Linguistics 投稿規定」「JELS 投稿規定」をよくお読みいただき、規定を遵守したうえで投稿されるようお願いいたします。

EL に関して、編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には、メールの件名およびメール本文には「English Linguistics 投稿規定」ページ末尾の「投稿論文の EL 掲載までの手順案内」の表で指定されている情報を必ず明記して下さい。開拓社から送られる自動応答の着信確認用の受領メールに返信する形で、連絡メールを送信しないで下さい。編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には必ず指定されている宛先のアドレスに送信して下さい。

JELS や所属機関の working papers 等に掲載された研究（の一部）を発展させて EL に投稿する場合には、論文審査が公平で厳正に行えるよう、投稿者自身のこれまでの関連する研究論文の情報は必ず記載して下さい。なお、相互に匿名による審査体制であることに留意し、本文等でそれらに言及するときには、3 人称表現をご使用下さい。

○ EL 掲載論文の再録やレポジトリへの登録に関するお願い

EL に掲載された論文の著作権は日本英語学会にあります。そのため、EL に掲載された論文を他のジャーナルや著書に再録する場合には、本学会の許可が必要です。再録をご希望の場合には、日本英語学会事務局宛 (elsj-info@kaitakusha.co.jp) にお知らせ下さい。

また、各大学で「学術情報レポジトリ」や「電子アーカイブ」に EL に掲載された論文を登録することを希望される場合、事務局までお知らせ下さい。日本英語学会では、発行後2年以上経過した論文の登録をお認めしています。無断での再録・登録は著作権侵害となりますので、ご注意ください。

○ JELS 掲載論文の再録・登録に関するお願い

JELS 掲載論文についても、再録および学術レポジトリや電子アーカイブへの登録や個人のウェブサイトへ掲載の場合には、EL 掲載の論文と同様に、事前に事務局まで (elsj-info@kaitakusha.co.jp) お申し出下さい。

JELS 掲載論文については、発行後1年を経過したものについては、申し出があれば再録や学術レポジトリなどへの掲載をお認めしています。

○ EL 公費購入のお願い

ご所属の大学図書館や研究室で EL を購入されていない場合には、ぜひ購入の手続きをしていただきたく存じます。EL がより多くの研究者に知られるだけでなく、本学会の運営にも益するところがありますので、よろしくお願いいたします。

○ 電子版投稿・審査体制に関連するお願い

研究発表応募、EL への投稿、および学会賞・新人賞への応募の電子化に伴い、学会から会員の方々に電子メールで連絡いたします。電子版投稿・審査体制の下での学会運営にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、事務局あるいは各委員会からメールで連絡を差し上げた際の返信につきましては、通常1週間の余裕をみてお願いしておりますので、その期間内にご返信をいただけますようお願いいたします。

○ 連絡先等変更のご連絡のお願い

メールアドレスや住所等の連絡先、及び所属に変更が生じた場合には、速やかに学会支援機構にご連絡下さい。連絡方法については、学会ホームページをご覧ください。

編集後記

学習院大学での 11 月の大会は、大会運営委員会及び開催校の先生方のご尽力により、盛会のうちに終わることができました。また、EL31 号は、2 冊合わせて 720 ページを越える、昨年号に続く大部の出版物となりました。いずれも学会活動を支えて下さる委員会の先生方と会員の皆様のご協力の賜です。有り難うございました。

大庭会長が再任されましたことから、留任する事務局員もおりますが、事務局長を始め何名かのスタッフは任期を終え、3 月末で交代致します。ただし、4 月は国際春季フォーラムがありますので、事務局長は 4 月末までは留任し、次期の事務局長に引き継ぎとさせて戴きます。4 月からは以下のような事務局員構成となります。

黒川尚彦氏 (大阪工業大学)・岩崎真哉氏 (大阪国際大学) [編集委員会・理事会担当]

本田隆裕氏 (神戸女子大学 (4 月から)) [大会運営委員会・評議員会担当]

吉本真由美氏 (実践女子大学) [財務・国際春季

フォーラム担当]

藤井友比呂氏（横浜国立大学）[学会賞委員会・
広報委員会担当]

岡田禎之（大阪大学）[事務局長（4月末まで）]

梅原大輔氏（甲南女子大学）[事務局長補佐（4
月末まで）、事務局長（5月1日より）]

現事務局には様々な不手際があり、各方面にご
迷惑をお掛けしたことがあったと思いますが、ど
うぞご容赦下さいますようお願い致します。

学会が応募できる科学研究費として 2013 年度
に「研究成果公開促進費（学術定期刊行物）」のカ
テゴリーが廃止され、「国際情報発信強化」という
カテゴリーが創設されて以来、学会の財務運営は
非常に複雑化し、今後の事務局の運営にも様々な
困難が予想されます。新事務局へのご支援をどう
ぞ宜しくお願い致します。

(S.O.)

2015 年 2 月 28 日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 大庭 幸男

発行所 日本英語学会

<http://elsj.kaitakusha.co.jp/>

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-2

開拓社内

電話 (03) 5842-8900
